

# ウンカ情報第3号

平成29年8月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 1 トビイロウンカ

予察灯では誘殺されていませんが、6月下旬の本田すくい取り調査で、飛来成虫が豊田市穂積町で1頭捕獲され、7月下旬の本田すくい取り調査でも、岡崎市桑谷町で成虫1頭が捕獲されており平年に比べやや多い状況です。

今後、高温少雨傾向になると虫数が急激に増加する場合があります。8月中下旬以降に虫数が急激に増加し坪枯れが発生した年もあるので、ほ場をよく観察し、発生を確認した場合は、速やかにスタークル／アルバリン顆粒水溶剤などで防除しましょう。

## 2 セジロウンカ

7月下旬の本田払い落とし調査では、106ほ場中県内全域の25ほ場で、すくい取り調査では、106ほ場中県内全域の16ほ場で成幼虫が捕獲されており、発生ほ場率は30.2%（平年55.4%）と平年より低く、捕獲頭数も平年より少ない状況です（表1）。

また、県内各地の予察灯における誘殺数も、平年より少なく推移しています（表2）

表1 セジロウンカの本田調査結果（頭：平成29年7月下旬）

調査方法	成虫	幼虫	計
粘着板による10株の払い落とし	0.28 (0.45)	0.50 (1.81)	0.78 (2.26)
捕虫網による20回すくい取り	0.25 (1.56)	0.49 (2.04)	0.75 (3.59)

( ) 内は、平年値（平成19～28年の平均）

表2 セジロウンカの予察灯における誘殺数（頭：平成29年）

月	半旬	長久手市	大口町	弥富市	東浦町	西尾市	豊川市
6月	第5半旬	1 (0.0)	0 (1.8)	0 (0.0)	0 (0.6)	0 (0.1)	0 (0.2)
	第6半旬	0 (0.3)	0 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.3)	0 (4.2)	0 (0.2)
7月	第1半旬	0 (1.9)	0 (5.8)	0 (0.0)	0 (0.3)	- (0.1)	0 (2.2)
	第2半旬	1 (2.6)	0 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.7)	0 (0.8)	0 (0.3)
	第3半旬	2 (2.0)	0 (4.9)	0 (0.0)	0 (0.9)	0 (0.8)	0 (2.4)
	第4半旬	3 (2.3)	1 (6.2)	0 (0.4)	(1.3)	0 (0.6)	0 (2.1)
	第5半旬	2 (10.6)	(6.0)	0 (0.0)	(1.8)	(0.8)	0 (3.0)
	第6半旬	(19.0)	(3.0)	(0.0)	(2.7)	(1.3)	(5.9)

( ) 内は、平年値（平成19～28年の平均） -: 欠測値